

異端から教会と家庭を守ろう！

聖書的観点から見た異端・カルトの特徴



エホバの証人（王国会館）

モルモン教（末日聖徒イエス・キリスト教会）

救援派（クオンパ）

新天地（新天地イエス教証しの幕屋聖殿）

世界基督教統一神霊協会（統一教会）

トラップン伝道運動（イエス長老伝道総会）

在日大韓基督教会

異端とは何か？

異端の定義

- *一般的に、正統的な教会によって偽りとされた、神学的教理と体系
- *聖書的表現 「恐ろしい狼」「偽預言者」「反キリスト」「異端」「偽教師」「間違った教訓で人を分裂させる者」などと表わされる

異端が発生する要因

- *悪霊（サタン）の働き
- *未来に対する不確実性
- *社会不安
- *教会の怠惰と不安
- *聖書の間違った解釈

異端の特徴

- *教祖の絶対性（強力で権威主義的な指導者によって始まる）
- *恣意的な聖書解釈（独善的で排他的な教理の主張。聖書以外に、他の経典を持っている。非聖書的な終末観を持っている）
- *信仰よりも行為による救いの強調
- *キリスト教の既存の権威と伝統を無視

異端の神学

- *全能なる神の否定
- *三位一体の教理に対する誤った見解
- *誤ったキリスト論
- *誤った教会論

異端宗教による被害

社会的側面

- *来世の審判、天変地異、戦争の予言など、流言飛語により社会の混乱と不安をあおる
- *追従する信徒たちに対して、非現実的で、反社会的な敵対感を誘発させる。既成の教会をサタンの勢力とみなす
- *暴行、搾取、脱税、脅迫、強制労働などの犯罪の温床となる
- *社会的なつながりを断ち、孤立させる
- *家庭を破壊する
- *人権を蹂躪（じゅうりん）する
- *家内安全、難病のいやし、金もうけなどのスローガンによって、経済的な搾取（さくしゅ）と収奪を強行する

宗教的な側面

- *独善的な主張によって、既成の宗教を攻撃する
- *キリスト教会を装い各種の犯罪を行い、教会の信頼を失墜させる
- *独善的で排他的な教理の主張により、教会に対する不信の風潮を招く

異端に対する警戒の姿勢

- *信徒の一人一人が聖書の御言葉と祈りで警戒する
- *正しい聖書的教理を理解する
- *断固として対抗する

エホバの証人（王国会館）

- 1. 創始者・核心人物** 創始者はチャールズ・テイズ・ラッセル（1852-1916）。ジョセフ・ラザフォードが引き継ぎ、1870年にペンシルバニアにて開始。本部は、ニューヨークのブルックリン。日本の本部は神奈川県海老名市にあり、「ものみの塔聖書冊子協会」という法人をもつ。韓国の本部は京畿道安城（アンソン）市。
- 2. 主要文書** 『ものみの塔』(Watchtower)と、聖書を改ざんし独自に発行した『新世界訳聖書』が主な経典。『目覚めよ！』(Awake！)なども発行。
- 3. 神とは** エホバの神を主張し、三位一体を否定する。イエスは、エホバによって創造された最初の被造物とする。
- 4. イエスとは** イエスは神ではなく、地上に来る前は天使の頭、ミカエルだった。エホバはイエスを通して宇宙を創造し、地上において、イエスは人として完全であった。また「杭」の上で死んだ後、肉体は消滅し、霊として復活。1914年に目に見えない霊として再臨した。エホバの証人の信者ではない人々は、イエスと天使たちによって滅ぼされる。
- 5. 聖霊とは** 聖霊は神ではなく、人格を持たない見えない力。
- 6. どうしたら救われるか** エホバの証人の洗礼を受ける。信徒たちは家庭訪問伝道をすることで、地上において永遠の命を得る。天国に入れるのは、144,000人の油注がれた者たちだけであるが現在、ほぼこの数字に達しているとする。
- 7. 死後はどうなるか** 144,000人が天国において霊として生きる。その「義なる者」から除外された「信じる者」が、この地上に残り千年の間、神に完全に服従し、救いに至らなければ完全に滅ぼされる。
- 8. 他の宗教儀式** 信徒たちは、日曜日に「王国会館」で交流を持ち、家ごとにトラクトを配布し伝道する。祝日と誕生日は守らない。また投票と国旗敬礼、兵役、輸血などを拒否。ハルマゲドンの戦いが近い将来起こると信じている。
- 9. 問題点**
 - ①輸血拒否（輸血拒否カードを常時携帯）
 - ②家庭の破壊
 - ③職業制限（書籍商、行商などは推奨）
 - ④教育軽視
 - ⑤結婚制限（エホバの証人同士のみ結婚可）
 - ⑥意識化教育（秘密結社組織）
 - ⑦兵役義務の忌避（きひ）および武器の所持拒否（兵役義務のある国では問題とされている）

モルモン教（末日聖徒イエス・キリスト教会）

1. **創始者・核心人物** ジョセフ・スミス・ジュニア(1805-1844)。1830年ニューヨークで「末日聖徒イエス・キリスト教会」を創立。本部はユタ州ソルトレイク市。アメリカ初の異端。
2. **主要文書** 「モルモン書(経)」「教義と聖約」「高価な真珠」そして「聖書」が経典。聖書は英語圏ではKJV、日本語は口語訳聖書のみ認める。
3. **神とは** 父なる神は人間であったが、後に神（エロヒーム）となった。肉の身体を持ち、その夫人（天の母）も同様である。三位一体を否定し、父、子、聖霊は分離した神々とする。
4. **イエスとは** イエスは父から分離した神である。イエスは天国の父、母から霊的な子として創造され、すべての人類と霊的存在の「長兄」となった。その身体は神（エロヒーム）とマリアの性的な結合により生じ、イエスも結婚した。十字架の死は全ての罪を完全にあがなうことはできなかったが、全ての者の復活の備えとなった。
5. **聖霊とは** 聖霊は神ではなく、神から発生した一種のエネルギーや影響力のようなものであり、「キリストの光」でもある。
6. **どうしたら救われるのか** 行いによって救われ、神性を得、恵みによって復活する。その行いには、教会の指導者とモルモン教のバプテスマ、什一献金、信仰誓約書、結婚式、そしてモルモン教の秘儀（宗教儀式）などへの献身が含まれている。モルモン教に属していなければ、永遠の命はない。洗礼を受けずに世を去った者のために「死者のためのバプテスマ」があり、これによって天国に入ることができる。
7. **死後はどうなるのか** 神の王国に入るか、「外の暗闇」（永遠の地獄）に残されるかである。ある者は神性に到達し、王国に入る。王国は父の家、天の王国と呼ばれ、「日の栄光」「月の栄光」「星の栄光」に分かれている。背教者や殺人者などは「外の暗闇」（永遠の地獄）に行く。
8. **他の宗教儀式** 酒、たばこ、コーヒーや茶を禁じる。2年間の宣教師誓約を勧め、家々を訪問して伝道。秘儀である礼拝式などには、地位が高いメンバーだけが参加できる。広大な社会的組織を持っている。
9. **問題点** モルモン教の教理は詭弁（きべん）に過ぎない。初期における一夫多妻制や、有色人種に対する差別など人権上の問題が多く、社会的非難の的である。礼拝は礼拝堂の他、神殿で行われ、儀式を通して神との特別な契約を結ぶが、秘儀に関しては口外してはならないとされ、その宗教儀式は今もベールに包まれている。

救援派（クオンパ）

1. **創始者・核心人物** 権信燦（コン・シンチャン、1923-1996）。アメリカの宣教師ディック・ヨーク（Dick York）の影響を受け、婿の兪炳彦（ユ・ビョンオン）などと一緒に1961年、大邱（テグ）で開始。後に兪炳彦を代表とする権信燦系（基督教福音浸礼会）、李ヨハン系（大韓イエス教浸礼会）、朴玉洙（パク・オクス）系（大韓イエス教福音浸礼会）に分派。
2. **主要文書** 月刊『嬉しい知らせ』『新しい道』『消息』『生命の光』を発行。聖書を曲解し、偏った救済論を合理化。旧約聖書の律法的な部分や十戒を否定し、宗教と福音を分離し、宗教（律法）から解放するのが福音であるとする。「聖書をすべて信じてはいけない。悪魔、サタン、世の言葉もある。聖書の全てが真理ではない」と教え、聖書の教えより救援派の教理である「救いについての10段階の質問」を強調する。
3. **神とは** 神は人格を持たない霊であるとする。
4. **イエスとは** 「悟り」による救いのみを強調し、イエスの教えを歪曲。権信燦、兪炳彦、李ヨハン、朴玉洙らは自分自身が生きている聖霊、イエス・キリスト、メシアであると主張する。
5. **聖霊とは** 兪炳彦らは自らを生きた聖霊と主張。「イエス」とも自称。
6. **どうしたら救われるのか** 「悟り」によって救われる。救われた後は、悔い改めが必要ない。救いは神の絶対的主権と恵みによらず、「救いの10段階の質問」の完成によって得られる。聖化が排除され、新生の救いだけを強調し、そこに焦点を合わせて聖書を曲解する。
7. **死後はどうなるのか** 「世界政府」の実現可能性や反キリスト「666」の出現などを強調。最後の時に、救援派の信徒たちだけが生きたまま天に上げられるとする。
8. **その他の宗教儀式** 朴玉洙らが「聖書セミナー」などを開催し、「株式会社セモ」などを通して活発な企業活動を展開。社会奉仕活動によって、良い印象を与えようとする。
9. **問題点**
 - ①悔い改めと信仰が欠落した「悟り」による救いを強調する
 - ②罪の赦しにより義人となったので、続けて悔い改めるのは救われていない証拠だと教える
 - ③自分を罪人だと言うのは、救われていない証拠であり、地獄に行くと教える
 - ④キリスト教会の制度や礼拝の形式、主日礼拝、什一献金、早天祈祷、祝福などを律法的な宗教だと規定し、否定する

新天地（新天地イエス教証拠幕屋聖殿）

- 1. 創始者・核心人物** 李万熙(イ・マンヒ、1931-)。20代半ば、豊角（ブンガク）長老教会に通っていた時、神秘的体験をしたと主張。幕屋聖殿（果川市）の創始者・柳在烈（ユ・ジェヨル）の弟子として情熱的に従っていたが、1980年たもとを分かち、安陽（アンヤン）市で新天地教会を建て「無料聖書神学院」を設立。韓国全国の既成教会に浸透。
- 2. 特徴** 李万熙を「エリヤ」「二人の証人」「二本のオリーブの木」（黙示録11章）、「使徒ヨハネ」「弁護者聖霊」「使命者」、ヨハネの黙示録に記された「アルファとオメガ」「証人」「刻印を押す天使」「再臨の主」「キリスト」「今の時代の救世主」などと呼ぶ。比喻中心の誤った聖書解釈をし、比喻を悟らない人は救われていないと主張する。正統的キリスト教会の救済観と大きな違いがある。聖書は異邦人や未信者に語られたのではないので、全て象徴、比喻、たとえ話で記されていると言う。マタイ24章とヨハネの黙示録だけが新しい約束の預言であり、それ以外の新約と旧約は全て無効であると主張し、その啓示を受けたとする。
- 3. 神とは** 創造主である神が無から有を創造したことを否定。カインとその妻を取り上げ、アダム以前から人間が存在していたと主張するが、これはキリスト教の創造論に挑戦する教理である。
- 4. イエスとは** 李万熙が、約束の民を滅亡の淵から解放し、新しい命を与える国を開くために来た再臨のキリストである。イエスがキリストであることと、聖書に記されている奇跡は否定する。
- 5. 聖霊とは** イエスは御言葉としてすでに再臨したと主張する。李万熙が弁護者、聖霊である。
- 6. どうしたら救われるのか** イエスを信じることのみによって救われるのではなく、「ヨハネ的使徒(弁護者)」である李万熙の言葉に聞き従うことによって、永遠の命が得られるとする。
- 7. 死後はどうなるのか** ヨハネの黙示録の預言が成就する場所は、李万熙の教会が始まった韓国京畿道の清溪山（チョンゲサン）である。新天地イエス教証拠幕屋聖殿で終末が起こり、地上天国が完成する。
- 8. 問題点** 「既成教会には救いがなく、教会と牧師を偶像化している」と非難。新天地だけが「真の神学」を教え、既成教会は「人間学」を教えているに過ぎないとする。既成教会に入り込んで「ゲリラ作戦」を繰り広げ、新天地の教会だけに救いがあると主張する。既成教会の信徒を「聖書勉強会」に誘い、個人と家庭、教会を破壊する。任命状と階級章、「血の誓約式」などを通して脱会できないようにする。正しい聖書知識と神学の基礎がなければその誘惑を退けにくい。

世界基督教統一神霊協会 (旧 統一教会、現 世界平和統一家庭連合)

1. 創始者・核心人物

文鮮明（ムン・ソンミョン、1920-2012）が1954年ソウルで開始。現在、本部はソウル龍山（ヨンサン）区にある。

2. 主要文書

文鮮明自身を神格化する「成就された約束」に焦点をあてた「神聖な原理」である『原理講論』がある。聖書を真理そのものにとらえず、真理についての教科書とする。

3. 神とは

三位一体を否定する。神は陰陽両性を持っている。神は宇宙を創造した。宇宙は神の体である。神は未来を知ることができず苦しむので、神を幸福にする者、文鮮明が必要だとする。

4. イエスとは

イエスは完全な人間であり、神ではない。彼はザカリアの息子であり、処女から生まれたのではない。イエスの使命は彼に従うユダヤ人を連合させ、完全な父なる神を探し、完全な家庭を実現することであった。しかし、イエスは失敗し、肉体として復活しなかった。二番目のキリストとして来た文鮮明はこの使命をよく履行し、イエスよりも高くされ、その使命を成し遂げたとする。

5. 聖霊とは

聖霊は女性的な霊で、イエスと共に全世界の人々を文鮮明に導く働きをする。

6. どうしたら救われるのか

真の父母（文鮮明と彼の夫人）を認め、彼らに服従する時、罪が赦され救われる。その結果として完全になる。信徒たちは、文鮮明とその夫人から受けた21種類の成分が入っている「特別な聖なるぶどう酒」を飲むことによって結婚する。

7. 死後はどうなるのか

人は死後に霊的な世界に行くことになる。そこには復活はない。信者たちは証人の証言によって文鮮明の前に進み出ることになる。さらにサタンまで救われるとする。

8. その他の宗教儀式

合同結婚式（一時は約30,000組）は異民族同士が原則であるが、これは文鮮明によってマッチングされてきた。信徒たちは、文鮮明がイエスに崇拝される王の中の王、万軍の主、神の子羊であり、死者たちとの霊的な接触を行うことができると信じている。

9. 問題点

「血分け」という名目で行う「混淫」、真の父母（文鮮明、韓鶴子）の偶像化。合同結婚式の強制、靈感商法などは最も警戒しなければならない社会問題である。

タラップン伝道運動（イエス長老伝道総会）

1. 創始者・核心人物

柳光洙（ユ・グワンス、1951-）。1991年、大韓イエス教長老教会（合同派）から悪魔論などの異端性と、ひき逃げなどによる道德性の問題により除名される。1998年にタラップン訓練院を創立し、タラップン運動を開始。

2. 主要教理

聖書の核心はサタンを滅ぼすための神の啓示であると主張し、これが真の福音の核心だとする。このような救済論だけを強調する。

3. 神とは

三位一体と共に信徒も一つになるとする、いわゆる「四位一体的神論」をもつ。これはウィットネス・リー（Witness Lee）の三位一体思想と類似する。すべての回復はサタンを滅ぼすとき、人間に戻ってくるとし、偏った悪魔論を主張する。

4. イエスとは

イエス・キリストの受肉の目的はサタンの全滅にあるとする。また、イエス・キリストの十字架の死は人間の失敗の代価をサタンに返すものであるとの「サタン賠償説」を主張する。

5. 聖霊とは

神論とキリスト論以外は特に強調しない。

6. どうしたら救われるのか

ウィットネス・リーの受容思想（イエスを受け入れるだけでクリスチャンになり、救いはサタンからの解放をいう）と似ている。究極的な救いではなく靈魂の救いだけを強調する。信じてからもイエスをもう一度受け入れるという「再受容説」を強調。救いを受けた人が神の御心に逆らうと、肉体は滅び、靈魂だけが救われるという「半救済論」を主張。

7. その他の宗教儀式

悪魔論に執着する。全人的成長と聖化よりも、ただ「タラップン伝道」を強調する。タラップン訓練院で伝道訓練運営やピラミッド式の構造を通し、柳光洙のメッセージを伝達。伝道訓練教材発刊、各地に伝道学校を運営、海外にも組織がある。

8. 問題点

誠実な福音伝道者を育成するよりは、タラップン訓練院を通して既存の教会を批判し、教会の秩序を破壊する。既存の教会を、伝道しない教会、あるいはサタンの教会とみなし、そして「タラップン伝道」に参加しない教会を無視する。

【連絡先一覧】

教派・教団ごとの連絡先

日本基督教団

事務局	03-3202-0544
北海教区事務所	011-716-5334 (北海道)
奥羽教区事務所	019-622-5770 (青森・岩手・秋田)
東北教区事務所	022-222-0998 (宮城・福島・山形)
関東教区事務所	048-647-0862 (新潟・群馬・栃木・茨城・埼玉)
東京教区事務所	03-3203-4270 (千葉・東京)
西東京教区事務所	03-5305-3991 (東京)
神奈川教区事務所	045-712-1820 (神奈川)
東海教区事務所	055-226-8617 (長野・山梨・静岡)
中部教区事務所	052-971-8497 (富山・石川・福井・愛知・岐阜・三重)
京都教区事務所	075-451-3556 (滋賀・京都)
大阪教区事務所	06-6761-8562 (大阪・奈良・和歌山)
兵庫教区事務所	078-856-4127 (兵庫)
東中国教区事務所	086-421-2780 (岡山・鳥取)
西中国教区事務所	0833-44-1424 (広島・山口・島根)
四国教区事務所	089-958-1407 (香川・愛媛・徳島・高知)
九州教区事務所	092-712-6678 (福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
沖縄教区事務所	098-898-4363 (沖縄)

カトリック中央協議会

社会福音化推進部 03-5632-4413

日本聖公会

事務所 03-5228-3171

日本福音ルーテル教会

三鷹教会 0422-33-1122

日本バプテスト連盟

宣教部 048-883-1091

在日大韓基督教会

総会事務所 03-3202-5398

カルト問題関連を扱うホームページ

日本脱カルト協会 <http://www.jscpr.org/>

全国統一協会被害者家族の会 <http://e-kazoku.sakura.ne.jp/>

弁護士紀藤正樹のLINC！（紀藤正樹弁護士作成）

<http://masakikito.com/>

靈感商法の実態（全国靈感商法対策弁護士連絡会）

<http://www.stopreikan.com/index.htm>

カルト問題キリスト教連絡会

<http://controversialgroupscommittee.info/wordpress/>

カルト問題キリスト教連絡会とは

カルト問題はキリスト教界全体に関わる問題であることから、日本基督教団、カトリック中央協議会、日本聖公会、日本福音ルーテル教会、日本バプテスト連盟、在日大韓基督教会によって発足した連絡会です。

『これが素顔！』（¥100）はとても参考になるパンフレットです。

申し込みはカルト問題キリスト教連絡会（東京都新宿区西早稲田2-3-18、TEL 03-3202-0544、FAX 03-3207-3918）まで。キリスト教書店でも販売しています。

発行日	2017年 5月 1日
編集人	在日大韓基督教会 神学考試委員会
発行人	総会長 金性済
配布所	宗教法人 在日大韓基督教会 東京都新宿区西早稲田2-3-18-52